

ボッチャルール

2026年6月12日現在

- (1) 競技者は1チーム3名で6個のボッチャボールを使用しゲームを進める。(1人2個のボッチャボール)。3名以上のチームはゲーム中、3名で行うこと。セットごとにメンバーの変更は自由にできる。
- (2) 競技者は最初にじゃんけんで先攻・後攻を決め、先攻は赤のボールとジャックボールを持ち、後攻は青のボールを持つ。1エンドごとのボールの入れ替えは行わない。
ボールの個数は6個とし、1人2個とする。エンドは3エンドで行う。
- (3) コートは10.00m×6.00mのテープで設置し、コート内にはジャックボール無効ゾーン(スローイングラインから左右サイドライン3.00mとスローイングライン中央地点(3.00m)から1.5m離れたところをつなげてできたゾーン)も設置する。
投球位置はスローイングボックスの中からとする。
- (4) ジャックボールは、ジャックボールゾーン終了地点からエンドライン内で送球位置から投げる。
但し、以下の場合については無効球となり、先攻後攻が入れ替わりません。コート内に入るまで同じ手順で行う。
 - ①ジャックボール無効ゾーン上
 - ②ジャックボール無効ゾーン内
 - ③サイドラインに触れている
 - ④サイドラインを超える
 - ⑤エンドラインに触れている
 - ⑥エンドラインを超える
- (5) 先攻チームが赤のボールを投球し、その次に後攻チームが青のボールを投球する。その後、ジャックボールに一番近いボールのチームと逆のチームが投球し続ける。逆のチームが全てのボールを投げ終わった段階で、ジャックボールに一番近いチームのボールが余っていた場合、余っているボールは転がさないという選択肢も可能です。ジャックボールから一番近いボールの色が入れ替わった場合は、投球チームを入れ替える。
- (6) 投球した赤または青ボールがサイドライン・エンドラインに触れるまたは線を越えた場合は、無効球となる。

- (7) ジャックボールが赤または青ボールに接触して、エンドライン・サイドラインに触れるまたは線を超えた場合、ジャッククロス（スローイングラインから5.00m×スローイングライン中央地点3.00m）の場所に移動となる。ただし、赤または青のボールがジャッククロスの場所にあった場合は、ジャッククロスのスローイングラインに一番近い場所に置く。
- (8) 得点の計算は、両チームのボールを投げ終わるまたは片方のチームが全てのボールを投げ終わりもう片方のチームが余ったボールを投球しないとなったときのジャックボールに近いチームが相手チームの一番近いボールの内側にある自チーム球の数とする。
- (9) 得点と同点となった場合、タイブレイクを行う。ジャックボールはジャッククロス（スローイングラインから5.94m×スローイングライン中央地点1.53m）に配置する。ジャックボールに一番近いチームを勝利とする。ただし、同距離の場合は決着がつくまでタイブレイクを行う。
- (10) 組み合わせは出場チーム数により主催者で決定する。リーグ戦で同率の場合は、①得失点差、②代表者ジャンケンの順で順位を決定する。
- (11) 審判の指示がない限り、コート内に立ち入る事はできない。ただし、審判の指示があってもコート内に入れるのはチームの代表のみとする。
- (12) 審判が、得点集計のためコンパス及びスケールを使用して計測するとき、ボールの側面で最短距離で計測を行うこと。
- (13) コートは次の通り設計する。（裏面へ）

ボッチャコート図

